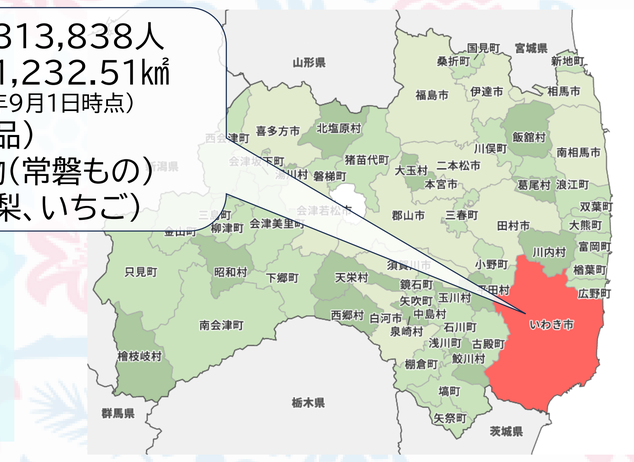
交通事業者と連携した地域公共交通の利便増進

いわき市役所公共交通課・新常磐交通株式会社

【いわき市について】
いわき市は、福島県南東部に位置する地方都市で、太平洋に面した豊かな自然環境、温暖な気候、そしてスパリゾートハワイアンズやアクアマリンふくしまなど多彩な観光資源を持つことが特徴です。

【路線バスの現状】
路線バスについては新常磐交通㈱が運行しており、いわき駅を中心に各拠点へと路線が続いています。
しかし、市内において商業、業務、文化等の中心である平地区、小名浜港を中心に産業や商業、観光施設が集う小名浜地区、観光資源である湯本温泉を有する湯本地区、多くの住宅を有するいわきニュータウン等への接続にあたって、各路線に経由先や待ち時間のバラつきがあり、路線が複雑化していることから、利便性向上のため以下の取組を進めて参りました。

人口:313,838人
面積:1,232.51㎢
(令和7年9月1日時点)
【名産品)
水産物(常磐もの)
果物(梨、いちご)



① 地域公共交通利便増進実施計画の制定 ～分かりやすいダイヤ、待ち時間の短縮化～

【計画の内容】

〇拠点間の連結
⇒駅や基幹病院、住宅地や大型商業施設への効率的な輸送

〇運行ルートの統一と等間隔ダイヤ
⇒利便性の向上、最大待ち時間の短縮

〇地域内フィーダー系統化
⇒いわき駅前で地域間幹線系統(いわき～富岡)に接続する地域内フィーダー系統として整理(2系統)

⑴スケジュール
【実証運行】
令和6年4月1日～9月30日

【本格運行】
令和7年4月1日～

⑵運行路線
基幹バス路線 4路線
・平～いわきNT
・平～小名浜
・平～内郷～湯本
・小名浜～泉

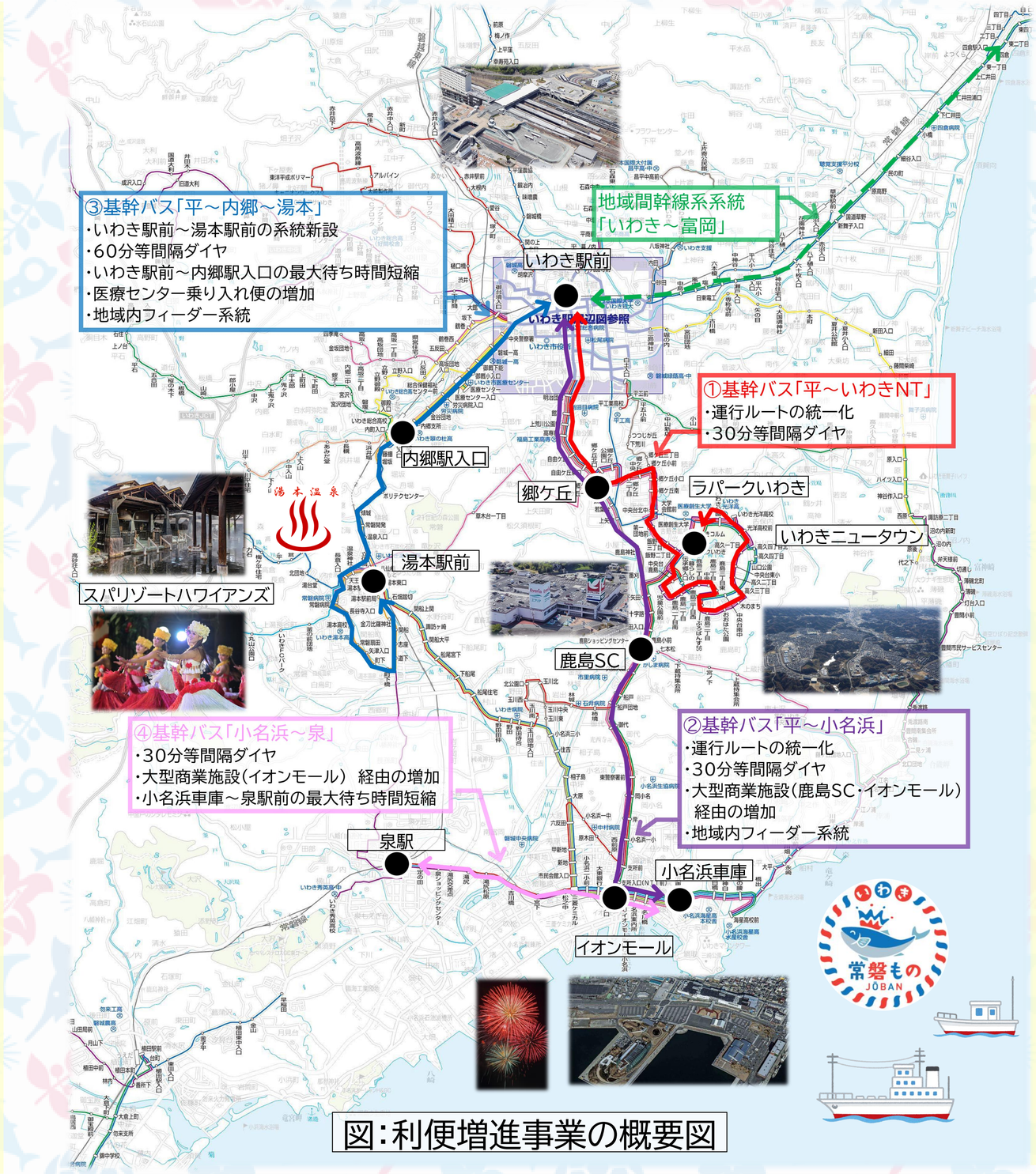


図:利便増進事業の概要図

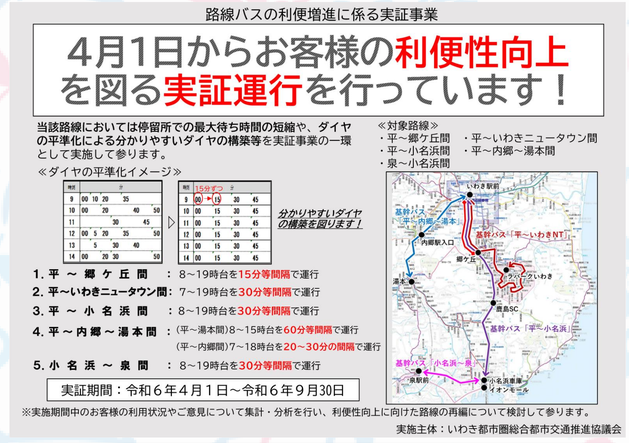


図:バス内掲示ポスター

【実証運行の印象調査】

⑴聞き取りアンケートの実施
実証事業の取り組みについて聞き取りを行ったところ、
86%の方が『利用しやすくなる』と回答

また
・系統が統一され、乗車するバスが分かりやすくなった
・湯本市街地に移動するのに一本のバスで行けるようになり便利になったとの声も

⑵事業者・運転手の声
・パターンダイヤ化され運行管理が容易となった。

⇒利用者・事業者ともに概ね好印象と捉える。

② 常交おかえりバスの実証と通常ダイヤへの組み込み ～夜間時間帯の路線バス運行～

【課題】運転手不足による影響により夜間時間帯のバス路線については、市内の公共交通の骨格を形成する基幹バス路線においても、ダイヤの減便、及び系統の縮小の影響を受けており、主に通勤・通学者の帰宅の足に影響を受けている。
【目的】①基幹バス路線の主に夜間時間帯の通勤者、及び学生の部活動・アルバイト・塾等からの帰宅における移動ニーズを把握するもの。
②バス車輌のダウンサイジングやタクシー運転手のバスへの活用可能性についての妥当性(運行面・費用面)を検証するもの。

⑴実証運行期間
令和7年1月21日 ～ 令和7年3月7日 まで (土日祝日を含む)
⇒好評につき令和7年3月31日まで延長(平日のみ)

⑵実証運行路線・ダイヤ

順番	運行ルート	発時刻		着時刻	運行時間
①	縦の腰ーイオンモール ー鹿島SCーいわき駅前	19:50	⇒	20:42	52分間
②	いわき駅前ー高専前 ーラパークいわき	21:00	⇒	21:45	45分間
③	ラパークいわきー鹿島SC ーイオンモールー小名浜車庫	21:50	⇒	22:32	42分間

⑶運行について
【4条許可】一般乗合旅客自動車運送事業の範囲で実施
・コミューター車両(11人乗り)1台を使用
・運転手はタクシー事業者(常交タクシー)から出向
・車両に路線バスの運賃箱を設置、ICカード(定期券)が利用可能
・バスロケーションシステム(JOKOバスくる)が利用可能
・実際に運行している既存の路線を活用(あくまでダイヤ改正の範囲内)
・小型車両での運行だが、利用方法は通常のバスと同様

実証運行終了後・・・
①・②の路線について利用者から好評であったことから通常ダイヤに組み込み(平日のみ)

順番	運行ルート	発時刻		着時刻	運行時間
①	縦の腰ーイオンモール ー鹿島SCーいわき駅前	19:50	⇒	20:42	52分間
②	いわき駅前ー高専前 ーラパークいわき	21:15	⇒	21:59	44分間